



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 江崎グリコ株式会社
コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範
四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

TEL 06-6477-8404

平成25年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	169,684	8.3	9,784	88.6	10,690	91.1	7,588	147.6
25年3月期第2四半期	156,713	△0.4	5,188	△26.3	5,594	△22.9	3,064	△20.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 11,087百万円 (376.4%) 25年3月期第2四半期 2,327百万円 (△42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	65.07	—
25年3月期第2四半期	26.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	244,166	140,888	56.5	1,051.98
25年3月期	219,363	116,347	52.1	1,004.66

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 137,902百万円 25年3月期 114,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	7.5	10,500	131.3	11,700	81.3	8,200	149.5	66.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	144,860,138 株	25年3月期	144,860,138 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	13,771,583 株	25年3月期	31,093,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	116,633,815 株	25年3月期2Q	113,649,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、輸出環境の改善や政府による経済政策の効果等により、景気は緩やかな回復基調となりましたが、米国の政策動向による影響や新興国経済の先行き等が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。一方、食品業界におきましては、円安による原材料価格の上昇等によって、取り巻く経営環境は一段と厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、原材料価格の上昇に応じた製品規格の見直しに着手するとともに、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、食品部門、畜産加工品部門は前年同期を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門等が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は169,684百万円となり、前年同期（156,713百万円）に比べ、8.3%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化によるアップ要因はありましたが、タイ子会社の洪水被害からの復旧や上海子会社の売上原価率ダウン等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費では、量販店店頭での販売対策の実施等により販売促進費等が増加したものの、広告費や経費等は減少しました。その結果、営業利益は9,784百万円で前年同期（5,188百万円）に比べ4,595百万円の増益となり、経常利益は10,690百万円で前年同期（5,594百万円）に比べ5,096百万円の増益となりました。また、投資有価証券償還益及び売却益を特別損益に計上した結果、四半期純利益は7,588百万円となり、前年同期（3,064百万円）に比べ、4,523百万円の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

（単位：百万円、%）

(セグメント)	売上高			営業利益		
	当第2四半期 累計期間	対前年 増減額	対前年 同期比(%)	当第2四半期 累計期間	対前年 増減額	対前年 同期比(%)
菓子	45,590	8,770	123.8	2,304	2,941	—
冷菓	46,134	3,538	108.3	4,661	△110	97.7
食品	10,865	△1,202	90.0	△210	116	—
牛乳・乳製品	49,259	1,879	104.0	2,161	1,009	187.7
畜産加工品	10,335	△518	95.2	478	821	—
食品原料	4,770	285	106.4	184	△155	54.2
その他	2,728	218	108.7	122	146	—
調整	—	—	—	81	△174	31.8
合計	169,684	12,970	108.3	9,784	4,595	188.6

<菓子部門>

売上面では、“キスミントガム”等は前年同期を下回りましたが、「ポッキーグループ」等が前年同期を上回り、新製品“神戸ローストショコラ”、“バトンロール”等も順調に売上を伸ばしました。また、海外では、洪水被害を受けたタイの子会社が復旧し、上海の子会社と同様に前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,590百万円となり、前年同期(36,819百万円)に比べ23.8%の増収となりました。

利益面では、タイの子会社が洪水被害から全面復旧したことや、国内での増収等により、営業利益は2,304百万円となり、前年同期(△636百万円)に比べ、2,941百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、“パリッテ”等は前年同期を下回りましたが、“ジャイアントコーン”、“パピコ”等は前年同期を上回りました。また、関西の卸売販売子会社も前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は46,134百万円となり、前年同期(42,596百万円)に比べ8.3%の増収となりました。

利益面では、東北の卸売販売子会社の減収による粗利減等により、営業利益は4,661百万円となり、前年同期(4,772百万円)に比べ、△110百万円の減益となりました。

<食品部門>

売上面では、“カレー職人”、“炊き込み御膳”等は前年同期を上回りましたが、“2段熟カレー”等のルウ製品は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,865百万円となり、前年同期(12,067百万円)に比べ10.0%の減収となりました。

利益面では、減収と売上原価率のアップ等により、営業損失は△210百万円となりましたが、前年同期(△327百万円)に対しては、販売促進費及び広告費の削減に努めた結果、116百万円の損失減となりました。

<牛乳・乳製品部門>

売上面では、“朝食プロバイオティクスヨーグルト”、“ドロリッチ”、“ストローで食べる朝食ヨーグルト”等が前年同期を上回りました。一方、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49,259百万円となり、前年同期(47,379百万円)に比べ4.0%の増収となりました。

利益面では、販売促進費、広告宣伝費等は増加しましたが、増収や販売品構成の変化に伴う売上原価率のダウン等により、営業利益は2,161百万円となり、前年同期(1,151百万円)に比べ、1,009百万円の増益となりました。

<畜産加工品部門>

売上面では、ベーコンは前年同期を上回りましたが、ハム、ソーセージ、“パリパリサラダ”等が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,335百万円となり、前年同期(10,853百万円)に比べ4.8%の減収となりました。

利益面では、販売品種と販売エリアの見直しや、人員削減、販売促進費の削減等に取り組んだ結果、営業利益は478百万円となり、前年同期(△343百万円)に比べ、821百万円の増益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“A-グル”や“澱粉”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,770百万円となり、前年同期(4,485百万円)に比べ6.4%の増収となりました。

利益面では、円安による輸入原料価格の上昇の影響を受けて売上原価率がアップしたため、営業利益は184百万円となり、前年同期(340百万円)に比べ、△155百万円の減益となりました。

<その他部門>

売上面では、オフィスグリコ、スポーツフーズがいずれも前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,728百万円となり、前年同期(2,510百万円)に比べ8.7%の増収となりました。

利益面では、増収等により、営業利益は122百万円となり、前年同期(△24百万円)に比べ、146百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は244,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,803百万円増加しました。流動資産は118,439百万円となり、22,690百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、有価証券の増加となります。固定資産は125,727百万円となり、2,113百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加、投資その他の資産のその他の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は103,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ261百万円増加しました。その主な要因は、未払費用の増加、未払法人税等の増加となります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は140,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,541百万円増加しました。主な要因は、当四半期純利益7,588百万円、剰余金の配当1,137百万円、自己株式の処分による増加となります。この結果、自己資本比率は56.5%(前連結会計年度末比4.4%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成25年7月30日に発表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年10月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,889	28,880
受取手形及び売掛金	33,921	35,331
有価証券	18,658	29,112
商品及び製品	9,057	8,760
仕掛品	947	1,049
原材料及び貯蔵品	9,819	10,172
その他	5,759	5,455
貸倒引当金	△304	△322
流動資産合計	95,749	118,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,513	23,687
機械装置及び運搬具（純額）	26,333	28,704
土地	15,578	15,643
リース資産（純額）	529	560
建設仮勘定	3,078	1,071
その他（純額）	3,173	3,724
有形固定資産合計	72,206	73,393
無形固定資産		
ソフトウェア	3,006	2,585
その他	544	739
無形固定資産合計	3,551	3,324
投資その他の資産		
投資有価証券	39,548	39,391
その他	8,524	9,835
貸倒引当金	△216	△216
投資その他の資産合計	47,855	49,010
固定資産合計	123,613	125,727
資産合計	219,363	244,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,976	32,224
短期借入金	9,950	7,443
1年内返済予定の長期借入金	556	10,000
未払費用	20,126	22,388
未払法人税等	1,039	3,081
販売促進引当金	1,544	1,619
役員賞与引当金	44	—
事業構造改善引当金	448	104
その他	7,452	5,393
流動負債合計	72,138	82,256
固定負債		
長期借入金	15,367	5,379
退職給付引当金	9,758	9,310
事業構造改善引当金	105	105
その他	5,646	6,226
固定負債合計	30,877	21,021
負債合計	103,016	103,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,442	7,413
利益剰余金	120,469	126,499
自己株式	△26,474	△11,726
株主資本合計	109,211	129,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,045	6,639
繰延ヘッジ損益	△41	—
為替換算調整勘定	△919	1,302
その他の包括利益累計額合計	5,085	7,941
少数株主持分	2,050	2,986
純資産合計	116,347	140,888
負債純資産合計	219,363	244,166

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	156,713	169,684
売上原価	89,395	95,253
売上総利益	67,317	74,431
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	14,331	15,628
販売促進費	20,831	22,904
販売促進引当金繰入額	38	75
広告宣伝費	5,807	5,625
退職給付引当金繰入額	758	826
その他	20,362	19,587
販売費及び一般管理費合計	62,129	64,647
営業利益	5,188	9,784
営業外収益		
受取利息	100	120
受取配当金	453	481
その他	622	870
営業外収益合計	1,177	1,472
営業外費用		
支払利息	135	139
為替差損	155	—
その他	480	426
営業外費用合計	771	565
経常利益	5,594	10,690
特別利益		
投資有価証券償還益	17	611
投資有価証券売却益	5	312
その他	—	38
特別利益合計	23	961
特別損失		
減損損失	134	105
災害による損失	447	78
投資有価証券評価損	400	—
その他	480	9
特別損失合計	1,462	193
税金等調整前四半期純利益	4,154	11,458
法人税、住民税及び事業税	1,856	3,516
法人税等調整額	△406	259
法人税等合計	1,450	3,776
少数株主損益調整前四半期純利益	2,704	7,681
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△360	92
四半期純利益	3,064	7,588
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△360	92
少数株主損益調整前四半期純利益	2,704	7,681

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△684	593
繰延ヘッジ損益	80	41
為替換算調整勘定	226	2,771
その他の包括利益合計	△377	3,406
四半期包括利益	2,327	11,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,655	10,445
少数株主に係る四半期包括利益	△327	642

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前記に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月19日開催の取締役会決議に基づき、公募による自己株式の処分を行い、平成25年9月4日を払込期日として普通株式15,000,000株を処分しました。また、第三者割当による自己株式の処分を行い、平成25年9月27日を払込期日として普通株式2,250,000株を処分しました。

この結果、当第2四半期連結結果計期間において利益剰余金が394百万円減少するとともに、自己株式が14,688百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が126,499百万円、自己株式が11,726百万円となり、株主資本合計は129,960百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結結果計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	食品 原料	計				
売上高											
外部顧客への売上高	36,819	42,596	12,067	47,379	10,853	4,485	154,203	2,510	156,713	-	156,713
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	-	95	117	70	284	1,509	1,793	△1,793	-
計	36,820	42,596	12,067	47,474	10,971	4,556	154,487	4,019	158,507	△1,793	156,713
セグメント利益又は損失 (△)	△636	4,772	△327	1,151	△343	340	4,956	△24	4,932	256	5,188

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額256百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額326百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△70百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結結果計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	食品 原料	計				
売上高											
外部顧客への売上高	45,590	46,134	10,865	49,259	10,335	4,770	166,955	2,728	169,684	-	169,684
セグメント間の内部売 上高又は振替高	328	-	-	87	113	134	663	1,601	2,264	△2,264	-
計	45,918	46,134	10,865	49,347	10,449	4,905	167,619	4,329	171,949	△2,264	169,684
セグメント利益又は損失 (△)	2,304	4,661	△210	2,161	478	184	9,579	122	9,702	81	9,784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額81百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額604百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△523百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報重要性が乏しいため記載を省略しております。